



◀ひおうぎ
(あやめ科)

多年草で葉は扇のよ
うに重なり合い横に広
がる。花径は5～6cm
で花被片は黄赤色。果
実は熟すと黒色のつや
のある種子をつける。
この種子をヌバタマと
いう。

▲ひおうぎの種子

花期 8～9月

草たけ 50～100cm

生育地 山の草原, 栽培

くるまばはぐま
▲ (きく科)



茎の中ほどに7～
8枚の葉が輪状につ
き、茎頂には7～9個の管状
花からなる頭状花をつける。

花期 8～9月

草たけ 30～60cm

生育地 山野の林の中

地下に2～3cmのりん茎
がある。花はピンク色で長
い穂となる。花被片は6枚。

花期 8～9月

草たけ 30～50cm

生育地 草原

つるぼ ▶

▼つるぼ(ゆり科)



○管状花=筒状花



◀つるまめ(まめ科)

茎はつるとなり左巻きに他
物にからみつく。葉は3小葉
からなる。花は淡紅紫色、と
きに白色。豆のさやには黄か
つ色の毛が密生する。

花期 8～9月

草たけ つる性の植物

生育地 原野, 草やぶ